

WICI Japan 統合報告セミナー2019 入門編 「経営デザインシートから統合報告へ」

主催者 : WICI Japan

開催日時 : 2019年1月10日(木)、31日(木)、2月20日(水)

時間 : 18:30~21:30 (うち2~3時間)

会場 : 大手町フィナンシャルシティノースタワー22階 KPMG セミナールーム

対象 : 統合報告を推進したいと考えている方、統合報告書を今後作成したいと考えている方。
全3回に出席できる方が望ましい。

開催趣旨 : モノよりも、体験や共感が市場を牽引する21世紀においては、ユーザの多様な価値観に訴求するビジネスを構想する(デザインする)ことが経営における最大の課題となってきた。各社において、これまでどのようにビジネスをデザインし、今後はどのようにしていくのか、それが明確になれば、統合報告書で伝えたいメッセージである「組織の価値創造プロセスを経営ストーリーとして伝える」ことの骨格を作ることができる。「経営デザインシート」(2018年5月9日知的財産戦略本部¹公表)は、それを円滑にするためのツールの一つであり、統合報告を展開するにあたって課題となるビジネスにおける「マテリアリティ」を認識し、「コネクティビティ」を解明していくためにも有効なツールであると考えられる。本セミナーは、統合報告を推進したいと考えている方、統合報告書を今後作成したいと考えている方に、経営デザインシートの作成を体験していただきながら、統合報告書作成につながるヒントを得ていただくためのものである。

【プログラム】

第1回 2019年1月10日(木) 統合報告講座エクストラコース

※持ち物 : 統合報告書を含む自社資料

第2回 2019年1月31日(木)

「統合報告に向けた自社の認識」

講義 : ①統合報告の現状と課題 (芝坂佳子氏)
②経営デザインシートの紹介 (内閣府知財事務局)

ワークセッション : 自社・事業の基本情報(存在意義等)の整理
これまでの価値創造メカニズムの把握

「環境認識と将来の構想」

講義 : ①環境の把握 (小林誠氏)
②環境変化の予測 (内閣府知財事務局)

ワークセッション1 : 自社を踏まえた外部環境の把握と予測

講義 : ③多角化し、グローバル展開する企業における外部環境の認識と将来構想 (安藤聡氏)

ワークセッション2 : 自社・事業の環境変化を見据えた将来構想

第3回 2019年2月20日(水)

「経営デザインシートの統合報告書への活かし方」

ワークセッション1 : 社内フィードバック結果について

ワークセッション2 : これからの姿への移行戦略の作成

講義 : 投資家からみた統合報告書の課題と経営デザインシート (鈴木行生氏)

ワークセッション3 : 統合報告の作成にあたって経営デザインシートの活用の在り方

¹ 本部長を内閣総理大臣とし、構成員は、全閣僚及び有識者10名からなる。内閣府知的財産戦略推進事務局が事務局を務める。

【別紙】 「WICI Japan 統合報告セミナー2019」で使用する経営デザインシートについて

・経営デザインシートは、①自社や事業の存在意義を明確に意識し、②従来の価値創造メカニズムを把握するとともに、③将来ありたい価値創造メカニズムを構想し、そのために④今から何を行うべきかの戦略を策定するための思考補助・デザインツールです。ステークホルダーとの対話促進にも御活用いただけます。

経営デザインシートの概要

100文字でいうと 環境変化に耐え抜き持続的成長をするために、(A) 自社や事業の存在意義を意識した上で、(B) 自社の「これまで」を把握し、(C) 長期的な視点で「これから」の在りたい姿を構想する。(D) それに向けて今から何をすべきか戦略を策定する。



・経営デザインシートは、各事業の統合的運用で価値創造をデザインする「全社用」と、個別事業の価値創造をデザインする「事業用」で構成されます。ワークショップでは、各位の御関心に応じて作成いただく予定です。

・セミナーで底本とする資料は首相官邸サイト「経営をデザインする」に掲載中の『報告書～経営をデザインする～』及び『報告書別冊(経営デザインシート記載要領)』です。

同サイトにはシートの活用例(仮想事例)が掲載されています。

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/index.html